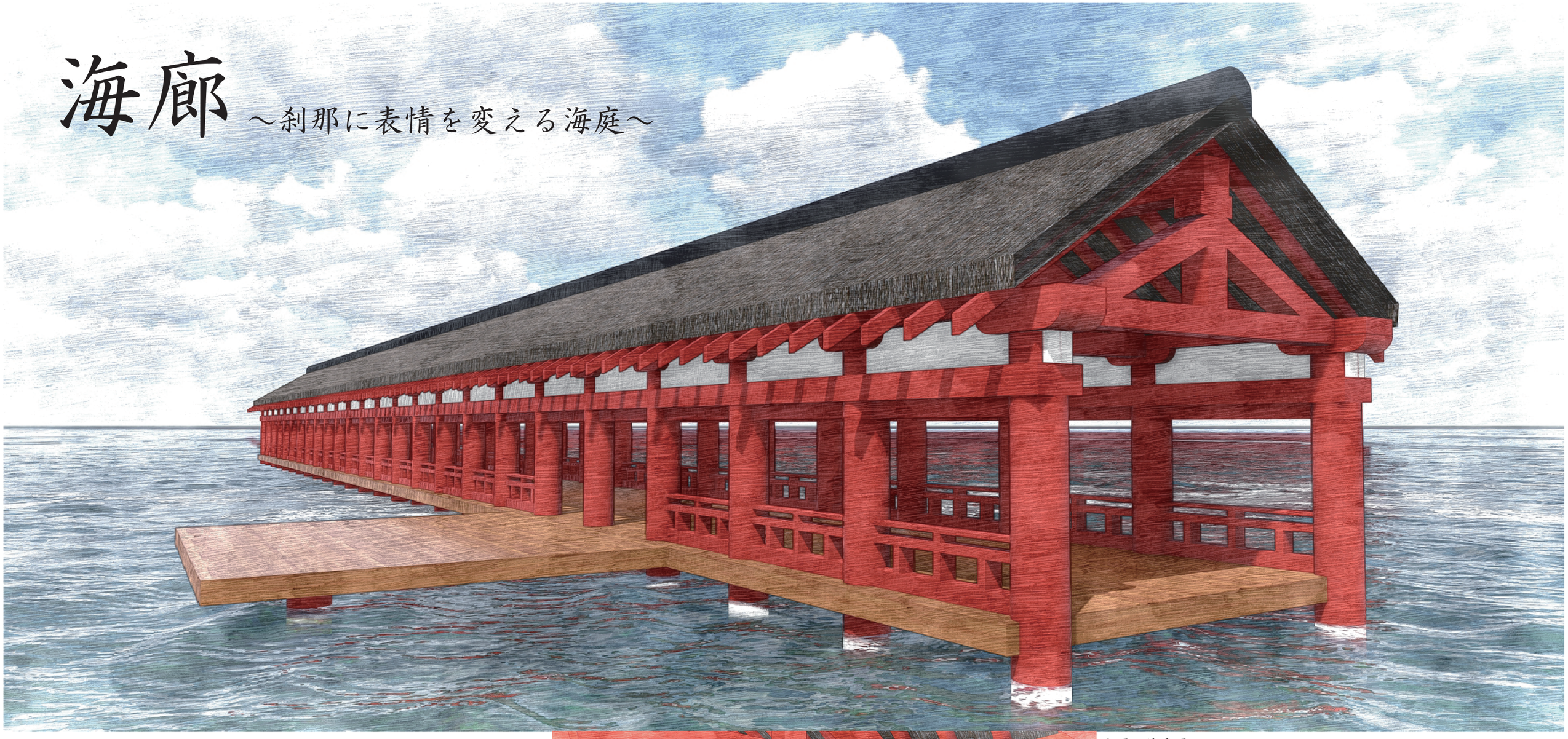
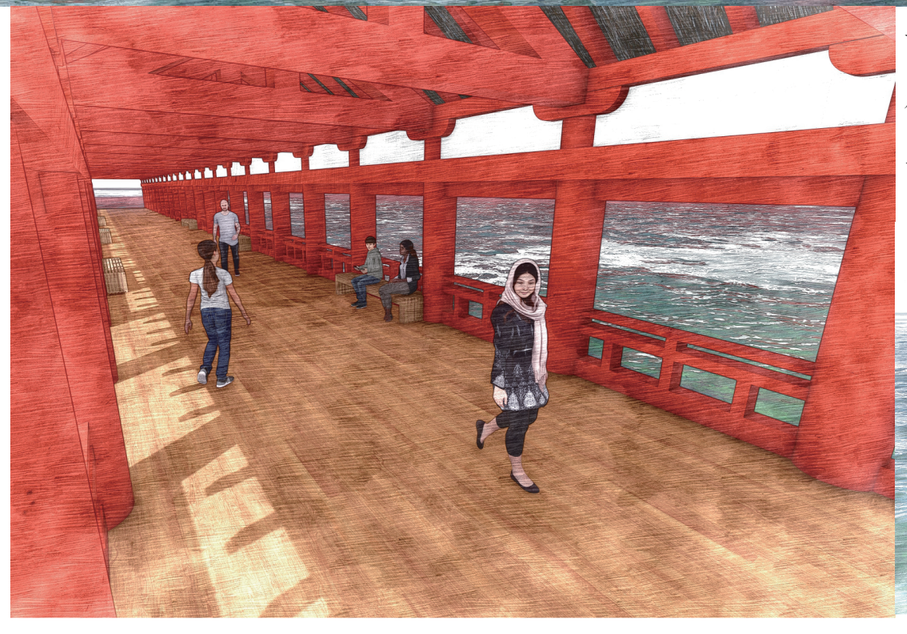
海廊 ～刹那に表情を変える海庭～



海庭（うみにわ）

海を庭と捉え「海庭」とし、それを楽しむことができる「海廊」を設計した。この設計では広島宮島の厳島神社の回廊と海の関係性を参考にし、潮の満ち引きや季節、天候によって刹那の時間で移り行く海の表情を楽しむことができる建築を目指した。満潮時には小魚が泳ぎ、干潮時にはカニや海藻が顔を覗かせる。それだけでなく潮が凪いだ時には静かな海を楽しむこともできる。こんな様々な表情を見せる「海庭」は庭の固定概念を覆し、新しい庭の在り方となるだろう。



上図：俯瞰図

左図：海廊内

海廊は厳島神社の廻廊と同じように柱と低い手すりにより潮風が抜ける心地よい空間とした。

下図：広場

広場を設け、休憩の場とした。雑談や釣りなどの海の娯楽を海庭を眺めながらすることができる。